

令和4年度

事務事業評価表 ( 令和3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和4年4月18日

事務事業名	電算システム運用管理事業						事業区分		担当		
	政策体系上の位置付け						新規/継続 単独/補助	継続 単独	事務事業No.	060304000257	
政策体系	総合計画の施策名	0603 時代に合った自治体運営							所属課	010201 企画課	
	政策名	06 みんなで築く自治のまちづくり							課長名		
	施策名	03 時代に合った自治体運営							グループ	企画グループ	
	手段名	04 ④適確な市民サービスの提供と個人情報の保護							担当者名		
	財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計 単年度繰返し (平成17年度~)				
	01	02	01	09	01	00	情報管理事業 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				
法令根拠											

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 桜川市の基幹業務系及び内部情報系電算システムの運用と管理をする。電算システムの他に、庁舎・出先機関を結ぶコンピュータネットワーク管理を含む。 各電算システムが安定して稼動する様に日々のシステム稼動状況を監視するほか、システムの有効利用や検討や各課からの相談、助言そして必要な作業を行う。また、障害の対応やその発生原因となるプログラムや機器の修正対応等を行う。 R4年度~R7年度に、総務省の自治体DX推進計画の「地方公共団体の情報システムの標準化・共通化」に伴う、基幹系業務システムの改修等を行う。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 電算システム、機器等賃貸借契約事務。 電算システム稼動状況の点検と監視とシステム障害時の対応。 関係課からの相談や助言、設定作業の実施。 人事異動等でのユーザ権限設定。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
電算システム、機器等賃貸借契約事務。 電算システム稼動状況の点検と監視とシステム障害時の対応。 関係課からの相談や助言、設定作業の実施。 人事異動等でのユーザ権限設定。	ソフトウェア保守作業回数 (電算処理業務連絡書数)	件	200.00	185.00	200.00	200.00	200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
導入されている電算業務システム	管理電算業務システム系統数	系	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
障害等の発生防止	障害発生件数	件	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

		02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	4,730	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	61,368	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	0	63,868	65,162	
	事業費計(A)	千円	61,368	63,868	69,892		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	3.00人		
03年度事業費 実績 (千円)				04年度事業費 予算 (千円)			
事業費の内訳	13 使用料及び賃借料	63,868		12 委託料	4,730		
				13 使用料及び賃借料	65,162		
	合計		63,868			合計	69,892

事務事業名	電算システム運用管理事業	事務事業No.	60304000257	所属課	企画課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
桜川市発足当初は電算業務システムの賃借、パッケージソフトウェアに維持保守が必要とされた。 平成22年度よりパッケージソフトウェアのレンタル、そしてプライベートクラウド型に電算システムを切替る。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
障害等の発生しない安定した稼動を絶えず職員から求められている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

現 状 維 持		評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	住民記録・市税・福祉・財務等の多くの事務事業を効率的に進めるためには電算システムの採用は必要不可欠であり、市民サービスの向上や事務の効率化が図られる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	業務システムが扱う事務の効率化の観点から電算システムの採用は効果がある。 また、本事務事業はその機能維持のために必要である。
有 効 性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	対象の「導入されている電算業務システム」、意図の「障害等の発生防止」については適切である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	事務効率を向上させる為に必要な要望等をシステムに反映させる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)	<input type="checkbox"/> 余地がない	具体的な手段、事務事業名 コンピュータシステムに変わる手段はない。
効 率 性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	保守費用はシステム使用料に含まれている。 賃借者契約の更新時期に合わせて経済的なシステム構成で調達する。
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	本事業により処理時間の短縮が図られることから、住民サービスに公平且つ有効的に作用している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	電算システムを利用しないと住民記録、市税、福祉業務、会計処理等の事務を行えず電線システムは必要不可欠となっているが、その経費の負担が大きい。また、委託業者が提供する電算システムを利用する事から、仕様変更を職員が行う事が不可能である。																											
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		(終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低 下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成 果	向上				維持		○	×	低 下	維持		×	×	低下		×	×
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成 果	向上																												
	維持		○	×																									
低 下	維持		×	×																									
	低下		×	×																									
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																											
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A : 継続 (現状維持) C : 終了、廃止、休止 B : 継続 (改革改善を行う) D : 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>